

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成27年度)

施設 の 名 称	宮城県昭和万葉の森
指 定 管 理 者 の 名 称	株式会社 万葉まちづくりセンター
施 設 所 管 部 課 (室)	環境生活部 自然保護課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成 年 月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	株式会社 万葉まちづくりセンター	
平成21年 4月 ~ 平成24年 3月	指定管理者	株式会社 万葉まちづくりセンター	
平成24年 4月 ~ 平成29年 3月	指定管理者	株式会社 万葉まちづくりセンター	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	株式会社 万葉まちづくりセンター
	所在地	黒川郡大衡村松の平三丁目4-34
指 定 期 間	平成24年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県 昭和万葉の森	
所 在 地	黒川郡大衡村大衡字平林117番地	
設 置 年 月	平成元年 4月	
根 拠 条 例 等	県民の森等の設置及び管理に関する条例	
設 置 目 的	万葉植物を通じて歴史・文化・自然科学等の学びの森とすると共に、森林浴による健康増進の場として広く県民の利用に共する。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	226,500㎡
	構 造	万葉の館:集会棟(木造平屋276,76㎡)・展示棟(木造平屋136,84㎡) 森林公園:あかまつ林(6.0ha)・落葉広葉樹林(ha)・遊歩道(5,659m) 駐車場(1,992㎡)
	内 容	万葉の館(集会棟、展示棟) 野外トイレ2棟(うち1棟は身障者用) 駐車場
開 館 (所) 日	通年(年末年始:12月28日 ~ 翌年1月4日を除く)	
開 館 (所) 時 間	午前9時00分~午後4時30分(4月1日~10月31日)、午前9時~午後4時(11月1日~翌3月31日)	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	(1)万葉の森の運営業務に関する事。 (2)万葉の森の維持管理業務に関する事。 (3)施設利用に関する事。	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	入場料は無料で、広間及び茶室の利用は有料。 イベント等で実費程度の参加料を徴収する場合もある。

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
開館(所)日数	358 日	357 日	358 日	100.0%	100.3%
延べ利用者数	40,000 人	24,064 人	33,340 人	83.4%	138.5%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
来園者	40,000 人	24,064 人	33,340 人	83.4%	138.5%
(内、館・茶室利用者)	1,000 人	1,528 人	1,724 人	172.4%	112.8%
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
	人	人	人	#DIV/0!	#DIV/0!
合 計	41,000 人	25,592 人	35,064 人	85.5%	137.0%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成27年度) (A)	前 年 度 (平成26年度) (B)	評価対象年度 (平成27年度) (C)		
県指定管理料	12,342	12,342	12,342	100.0%	100.0%
利用料金収入	250	46	32	12.8%	69.6%
その他	450	91	21	4.7%	23.1%
収入計 (a)	13,042	12,479	12,395	95.0%	99.3%

(2) 支出

人件費	9,214	9,477	8,222	89.2%	86.8%
施設管理費	1,600	1,678	1,863	116.4%	111.0%
事業運営費	1,574	1,526	2,446	155.4%	160.3%
その他	654	19	31	4.7%	163.2%
支出計 (b)	13,042	12,700	12,562	96.3%	98.9%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	-221	-167	#DIV/0!	75.6%
前期繰越収支差額	620	514	293	47.3%	57.0%
次期繰越収支差額	620	293	126	20.3%	43.0%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成27年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
	評価		評価		評価		
①管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 来園者の多い4月～11月の期間については3名～4名体制にし、来園者への対応、園内施設整備、遊歩道、他の除草及び各種案内看板を前年度より増設(樹木名、注意喚起等) H27年度途中より、県インストラクターを1名から2名に増員し、来園者への案内 		<ul style="list-style-type: none"> インストラクターを1名増員し2名体制にし、それぞれ樹木・草花・動物・昆虫と全般に詳しく説明等ができるため、来園者の方々にとっても好評です。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に基づき、適切な管理運営体制であったと認められ、対応者の増員により、来場者への利便性の向上が図られている。 	A
人員体制	正規	2人	非正規	3人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> 電気施設 →日常点検の実施、東北保安協会に委託し定期点検の実施。 機械 →使用マニュアルによる整備点検の実施。 防災 →消防防災訓練等の実施。夜間等の警備については、警備会社(同和警備)に委託。 		<ul style="list-style-type: none"> 当社による日常点検の実施、電気防災、保安につきましては、委託契約を結び計画とおり実施した。 管理作業で使用する機械等は、使用マニュアルに基づいた点検。整備・修理を実施し使用した。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に基づき、施設に関する補修や維持管理等について、適切に実施されたものと認められる。今後は、歩道のチップ化や木製階段の更新についてH27、28年度に実施します。他に修繕が可能な所については、引き続き管理を実施願います。 	A
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 見頃の草花等の案内が見てわかるよう写真を使った案内板の設置。 リピーターの誘導策として、各種イベント情報、開花情報等のダイレクトメールの発送。 万葉植物と歌碑巡り(1回・17名) テレビ、新聞等の取材に積極的に対応し広告掲載をおこなう。 		<ul style="list-style-type: none"> 万葉の森年間イベント開催情報予定表等を計画とおりダイレクトメールにて発送をした。 来園者アンケートのご意見等にもありました樹木・草花等銘板の増設をおこなった。 新聞・テレビ等の取材・報道を働きかけ多くの県民の皆様がPRすることができた。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画に基づき、適切に運営業務が実施されたものと認められる。 指定管理者の創意工夫により来場者の増加対策を図り、来場者からも評価されている。今後とも利便性向上に努めてほしい。 	A
④自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察会の開催(5回・66名) クラフト教室の開催(8回・46名) キッズウォークラリー(1回・22名) 万葉植物と歌碑巡り(1回・17名) 創作教室(1回・13名) 山ゆりまつり(来園者6171名) 菊鑑賞会(来園者2041名) カブト虫頒布会(実績なし) 		<ul style="list-style-type: none"> 昨年度より計画していた、連理木の環境整備と昭和万葉の森の万葉歌碑・連理木・草花木の散策マップの作成し来園者の方々より好評を得ました。 かぶと虫頒布会につきましては、昨年度より育成する幼虫が捕獲できなくなり今年度は開催を断念しました。 次年度以降の検討が必要。 		B	<ul style="list-style-type: none"> 年度事業計画に基づき、自主事業を実施されているものと認められる。今後はさらに自主事業を積極的に企画し参加者の増加や、リピーターの確保に努めてほしい。 	B
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 河北新報、大崎タイムなどの新聞社等に各種イベント情報、連理木巡りの掲載依頼の実施。 仙台在局放送局への積極的な働きかけで昭和万葉の森のPRに努める。(隣接の万葉クリエートパークの取材と合わせての取材等) 		<ul style="list-style-type: none"> 管理棟前と展示室内に現在、開花している草花、見れる野鳥、昆虫の写真掲示板を設置し来園者の方々楽しく見ていただいた。 万葉館周辺の落ち葉清掃、遊歩道の雨での浸食等整備をこまめにおこなった。 新聞社・テレビ等に開花情報等(山ゆり等)の情報を発信した結果、見て来ましたと言う来園者が増加しました。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業の実施状況から、事業計画及び指定管理者の評価のとおり、適切に実施されたと認められる。今後も引き続き利用者サービスの向上や来場者確保に向けたPR等の取り組みについて実施願います。 	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> 利用者からの苦情につきましてはありませんでした。 アンケート調査にて、御成山の松食い虫の多発は、非常に残念ですとの回答がありました。 		<ul style="list-style-type: none"> 特に苦情等はありませんでした。 特に多いのが、集会棟トイレの洋式化についての要望があります。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の評価も高く、利用者ニーズを把握し、利用者からの要望等に対しても迅速に対応するなど、適切に実施されているものと認められる。 トイレの洋式化については財務部局と協議しながら対応を考えていく。 	A
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 散策中の倒木による事故防止に遊歩道沿いの枯れ木の伐採。 強風時の枝落下による事故防止に職員による「一声運動」の実施と注意看板の増設。 		<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道沿いの枯れ木危険木の伐採をおこない今年度も110本位の伐採をおこなった。 強風時の枯れ枝落下の注意喚起とし来園者の方々へ一声運動をおこなった。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 適切な巡視と維持管理や予防措置が講じられ、利用者への安全に関する注意喚起を図るなど、適切に安全対策を実施したものと認められる。 	A
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> 県民の皆様にも広く親しまれるよう、テレビ、ラジオ、新聞、タウン情報誌等に情報提供できる様PRする。 万葉の館利用者受付は、利用日時、利用時間、利用目的、利用者数の確認を行い利用申請書記入の上貸し出しする。 		<ul style="list-style-type: none"> 新聞、テレビ、タウン誌等に開花状況・イベント情報の情報提供及び取材を積極的におこなった結果、何々を見て来ましたという来園者の方々が増えてきました。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 広く県民に対して利用を促すように考えられた運営内容であったと認められる。 	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	・個人情報保護規定(趣旨)第1条 この規程は、万葉まちづくりセンターの事務業務に係わる個人情報の適正な取り扱いを確保し、個人の権利利益の侵害の防止を図るため、個人情報の取り扱いに関し必要な事項を定めるものとする。	・自主事業等の参加名簿については、個人情報記載されている関係書類等については、外部持ち出し禁止で事務所書庫に適切に保管している。	A	個人情報の保護に関する重要性を理解し、個人情報の漏洩がないよう適切に管理されていると認められる。	A
⑩利用実績	・来園者数 →33,340人 内、館利用数 →1,703人 茶室利用数 →21人	・来園者の方々からの調査でどちらからの来園しましたかという来園ルートの調査により、隣接する万葉クリエートパーク側(四季菜苑)からの来園する方々が多いと判明しカウント方法を変更しました。	B	利用者数は計画目標を上回っており、施設のPRや各種イベントの開催により集客の向上を図る取組が行われているものと認められる。 今後は更なる利用者数の増加のため、様々なイベントの企画及び施設のPRを実施願います。	A
⑪収支実績	「最小限の経費で最大限の効果」を目標に、効率的な事業を実施した。	効率的に事業を実施したと評価する。	A	適切に事業が実施されたものと認められるが、自主企画事業での収益の確保(赤字にならない程度)等改善が必要と思われる。	B
⑫その他の取組	・昨年度、貴課と協議させていただきました。連理木周辺の環境整備の実施と園内にある連理木、万葉歌碑、草花木の散策マップの作成を自主事業として取り組む。	・連理木の環境整備後は多くの来園者に見て頂き、新たに作成した散策マップと従来より使用している万葉の森パンフレットとセットでお持ち帰りしていただいております。 ・広い園内のため、今、どこにいるのかという案内板が少ない為、今後、園内に何力所かを内作で設置したいと思っております。(簡易的)	A	来園者のニーズに応え、利便性の向上に努めており、適正に事業管理がなされていると認められる。 万葉の森の設置目的や園内の景観に配慮し、創意工夫を図り管理を図っていただきたい。	A
総合評価		・連理木巡りという新しい名所作りと周辺の環境整備(四阿周辺除草、清掃・遊歩道の簡易的整備・景観を損なう倒木処理・危険木の伐採撤去等・銘板の増設等)により来園者の方々安全に楽しめる様努めました。	A	利用者数の計画目標を下回ったが、施設の維持・管理及び運営業務等に関して良好であると認められる。 今後は更なる利用者数の増加のため、様々なイベントの企画及び施設のPRに努めていただきたい。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	・ご年配の集会棟の利用時によくお話のできる事は、トイレの洋式化の要望が出ますのでご検討をお願いいたします。 ・園内の枯れ木が近年増えてきており、樹木の更新がうまく進んでいない状況です。 今後の除草作業について検討していかなくてはならないと思っております。	・施設内トイレの洋式化については財政部局と協議し検討していきたいと思っております。 ・園内木の枯損については松くいやナラ枯れによるものもあり、必要があれば広葉樹苗の補植や天然更新について検討していきたいと思っております。 ・後継木の育成が必要な箇所刈払いについては、現地を確認しながら検討していきたいと思っております。